

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	後期高齢者医療保険普通徴収事業			会計	款	項目	大	小
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保険年金課			
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	今野 忠光			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	後期高齢者医療被保険者	意図	主たる財源である保険料収入を確保し、健全性を保持する。
事業内容	後期高齢者医療被保険に加入することにより、被保険者の前年度所得に応じて保険料を賦課し、これに基づき、被保険者から保険料を徴収し、円滑な財政運営を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	収納率は徐々に向上しているが、景気の低迷などで収納業務自体が難しくなっており、滞納処分の強化が必要である。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	保険料収納率（繰越分）	61.44	50.12	44.65	%	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		9,564,616	8,923,086	8,920,236			
事業費(b)(円)		1,747,052	1,783,746	1,972,085			
うち一般財源		1,747,052	1,783,746	1,972,085			
職員給与費(c)(円)		7,817,564	7,139,340	6,948,151			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.22	0.22	0.22			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	収納率向上のため滞納整理を行う。また、分納不履行者に対しては文書催告及び電話催告を行う。	③取組の課題	景気低迷に伴い滞納整理が困難となってきた。新設される市税等納付コールセンターとの連携が必要。
②今年度(H29)に実施した取組	滞納整理をより強化し、電話催告及び文書催告を行った。また、平成30年度より休日及び夜間に電話催告及び文書催告を行う「市税等納付コールセンター」の設置を図った。	④今後(H30以降)の改善計画	滞納整理のより一層の強化を行い、保険料繰越分の収納力を向上させる。市税等納付コールセンターとは連絡を密に保険料現年度分の収納力を向上させる。